



きずな

SENBI

2025年1月

第2501号

＝令和7年（2025年）を迎えて＝

代表取締役社長 中田義秀

明けましておめでとうございます。皆様には健やかな新年を迎えられたことと拝察しております。

また、年末年始に業務に携われた方、本当にお疲れさまでした。心からお礼を申し上げます。



昨年は1月1日に能登半島地震、2日には羽田空港での航空機衝突・炎上事故と連日に渡り甚大な災害・事故が発生し、激動の年明けとなりました。また、7月から9月にかけては、過去に例のない猛暑日続きにも見舞われ、異常気象が常態化していくのではと危惧しています。どうか令和7年は、平穏で穏やかな年であって欲しいと切に願っています。

さて、アメリカではトランプ氏が4年ぶりの政権奪還を決め、1月20日の就任後は「アメリカファースト」の政策が次々と繰り出されるでしょう。すでに公言している関税引き上げについては、直接・間接的にも物価高騰に繋がり日本経済に大きな影響があるものと考えています。今後の動向に傾注しつつ適切な対策をとっていく必要があるでしょう。

一方、広島県の最低賃金が千円を超える中、ビルメンテナンス業界においても限られた需要に対し事業者同士の過大な争奪戦もあり、弱肉強食化しつつあるのではないかと考えています。会社として業績を伸ばしていくには、特色ある戦略を構築していく時代となってきています。

そこには過去に捉われない柔軟な発想の転換も必要でしょう。また、会社のブランド化にも積極的に取り組んでいく必要もあるでしょう。皆様からも積極的かつ建設的な提案・提言をいただきたく考えています。

当社の第44期も3四半期を終え、売上はお陰様で計画以上の数字を達成する見込みです。皆様のご尽力が実となる結果として残せたことに感謝しています。残す3か月、節目となる次の第45期に繋げる成果を上げていただくよう、引き続きお願いします。私も成果に対しては出来る限り皆様に利益還元をしていきたいと考えています。

そして、年末にかけて労働災害が多く発生しました。安全管理については安全衛生委員会などを通じて何度となく注意喚起してきたところですが、結果としてこのように続発したことに心を痛めております。一旦労働災害が発生すれば、職場だけでなくご家族や周りの人にも心配をかけることとなります。今一度初心に戻り、業務に従事する際は事故発生に繋がる要因を取り除くなど万全の注意を払い、安全管理の徹底についてお願いします。

締めに、新しい年が、皆様にとってご多幸で実り多い年でありませう心からご祈念申し上げ、新年を迎えて挨拶とします。

本年もよろしく願いいたします。



令和7年の抱負



呉営業所
所長 齋藤敦則



新年あけましておめでとうございます。
本年もみなさまにとって良い年である事を、心よりお祈り申し上げます。

さて、私事ですが昨年、人生53年間で初めて大病をしました。『食道静脈瘤』という病名で、1日中トイレで吐血してしまい、緊急入院しました。その際は本社、各営業所、従業員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

今回の件を受けて、改めて健康の大切さと仕事ができる喜びを感じております。

呉営業所では嬉しいニュースもありました。

6名のメンバー（男性5名・女性1名）が新たに加わりました。

そして本年度の抱負ですが、昨年9月、大谷翔平選手が前人未踏の1シーズンに50-50（本塁打50、盗塁50）を達成した事をうけまして、呉営業所は100-100（健康100、仕事100）になるように精一杯取り組めるよう新規メンバー含めて、努めて参ります。

本年度もよろしくお願い申し上げます。



東山口営業所
所長 本田健一



新年あけましておめでとうございます。

私は昨年の年始めの挨拶で健康管理と交通事故防止などの安全衛生面について述べさせていただきましたが、この気持ちは新しい年に代わっても全く変わりはありません。それは、心身の健康が一番大切なことであることを、私自身がこれまで身をもって経験してきたからにはほかなりません。

所長として、皆さんが元気で入社し、そして業務に携わり、無事に帰宅されることが何にも代えがたい喜びです。昨年も申し上げましたが、皆様が健康であることが家族の幸せにつながり、会社にとってもお客様に最高のサービスを提供できる重要な要素と考えています。

会社は健康診断の実施や安全衛生委員会の開催など、健康管理を積極的に行っています。皆さんは会社が行う健康診断を受診する義務を負っています。どうか健康診断の受診など、ご自身の健康管理に積極的に努めてください。

私も所長として、本年も安全衛生面を中心に取り組み、営業所の健全な運営に万全を期していく所存です。

締めに、令和7年が皆様にとって健康とご多幸でありますよう心から祈念しています。

三次営業所
所長 平田 勇



新年、明けましておめでとうございます。

三次営業所は昨年「諦めない」を掲げ、従業員が一丸となって、栄光の勝利を見据えて頑張ってまいりました。物価高向上、現在も続く不況の影響もあり、各物件も減っている状況です。

そんな一年を振り返って今年は巻き返しの年だと思っており、もう一度しっかりとした基盤づくりを掲げ、各現場の管理・教育等の立て直しをはかりより良い仕事を求めていこうと思っています。

課題であった人員不足も若干ではありますが、ある程度落ち着いてまいりましたので従業員とのコミュニケーションも大事にし、業務を遂行できるようこれからも三次営業所従業員一同で巻き返しの努力をしてまいります。

皆さま、本年もよろしくお願いたします。



東広島営業所
所長代理 大岡章三



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、元旦から能登半島地震が発生し大変な年となりました。

今だ、被災者の皆様は、つらく、苦しい日々をお過ごしのことと思います。

このような時代ですが、本年は、みなさまにとって良い年である事を心よりお祈り申し上げます。

さて、令和7年の干支は、乙巳（きのとみ）の年へび年です。

乙（きのと）は、木の弟とも書き、しなやかに風に揺れ、踏まれても立ち上がり、根が枯れない草花を象徴するそうです。

巳（み、へび）ですが、大変ありがたい生き物のようです。神社のしめ縄は、雌雄の蛇が絡まった状態に由来するそうです。またインドや東南アジアで、ナーガと呼ばれる蛇の聖霊は、仏法の守護神だそうです。また、脱皮して成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物とされています。

乙巳は、夏の始まりの生命力あふれる草花のような年だそうです。

生命力あふれた草花のように「健康第一！」をモットーに「無災害運動を通じての安全」、「業務実績のさらなる飛躍」を合言葉にし、東広島従業員一同、頑張ってまいります。

どうか、皆様の暖かく力強い、ご助力・ご支援をお願い申し上げます。

巳年

令和7年は「巳年」です。

皆さんの中には、蛇について苦手意識を持つ人が多いのではないのでしょうか。しかし最近では、あまり手がかからないことや品種の豊富さが人気となり、ペットとして蛇を飼育する人も増えています。

苦手意識の多い「蛇」ですが、全く違った意味での捉え方もありますので、そういった「蛇」にまつわる話を集めてみました。

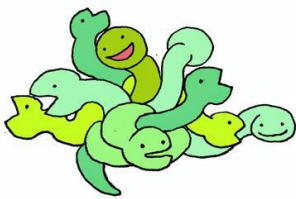


神社のご神体が「蛇」というのは珍しくありません。「白蛇は神の使い」、「蛇の抜け殻は金運のお守り」など、へびを神聖なものとする例は全国各地にあります。家の守り神としてあがめ、「家の敷地内で蛇を殺せば家が絶える」、「家に蛇が住み着くと家が栄える」、「家に蛇が這い入ると病人が回復する」という言い伝えもあります。



このように蛇を神聖視する理由として、①長いものを長寿の象徴として考える。②生命力が強いものへのあこがれ。(死への恐れを遠ざける) ③ほかの生き物を食べる。人間をも殺す能力がある。(生死をつかさどる力の畏敬の念) などが考えられるそうです。

また、湿気を好み、泳ぐこともできる蛇は、水との関連付けで崇拝されることも多いと言われています。古事記に登場する「八岐大蛇」も土地を流れる河川の氾濫を「折々に暴れて人々を困らせる大蛇」として描かれています。農作物の出来不出来に大いに関係する水につかさどるものとして、蛇は豊作を願う心、ひいては子孫繁栄、金持ちになるという願いを引き受ける神聖な生き物として扱われるようになったそうです。



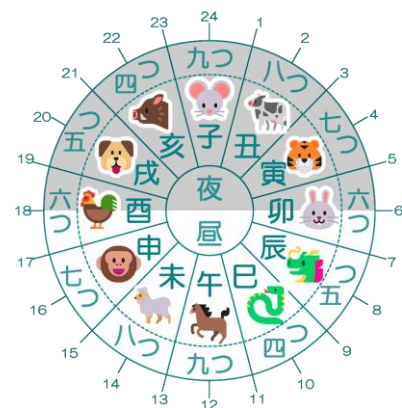
《「巳」という漢字の由来と意味》

「巳」の文字は「蛇」を表す象形文字がルーツです。

胎児の形を表すという説もあり、それによれば「起こる」「始まる」「将来や未来がある」「子孫繁栄」などの意味を持ちます。

十二支を表す漢字は、古くは時刻や方角、季節を示す際にも用いられてきました。「巳」の季節は旧暦4月、春の終わりから初夏にかけての季節です。「巳」の時刻は午前9時から午前11時の間、方角は南南東を指します。

1日であれば、日が昇りゆく時間、季節であれば、春に芽吹いたものが成長し、夏に向けて活動が盛んになる時季を表します。



《巳年はどんな年になる？》

脱皮をするへびのイメージから、巳年は「復活と再生」を意味します。植物に種子ができ始める時期、次の生命が誕生する時期など、新しいことが始まる年になると言われています。また、「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われています。

《へびと金運の関係は？》

へびは金運上昇にご利益がある、へびの抜け殻を財布に入れるとよい、財布を新しくするなら巳の日がよい…などという話を耳にしたことはないでしょうか。

へびがなぜ金運と関連付けられているかという点、一つはへびが脱皮をすることから「再生と繁盛」を象徴し、それが金運や富と結びついたためだと言われています。

もう一つは、七福神のひとり「弁財天」とのつながりです。

「弁天様」として親しまれている「弁財天」は、琵琶を持つその姿が表すように、芸能の神様として有名です。と同時に、財運にもご利益があるとされています。

白蛇は「弁財天」の使いまたは化身とされ、縁が深いことも蛇と金運・財運が結びついた理由です。

巳の日にお金にまつわるお願い事をするとう運がアップすると言われていますが、これは蛇が使いとなって「弁財天」に届けてくれるとされています。



《巳年生まれの人性格》



巳年生まれの人には思慮深い性格の人が多くいます。自分の本心を出すことが少ないため、心の奥底では様々なことを深く考えています。

それに加えて行動的な一面も持ち合わせているため、リーダーシップを発揮します。その反面、物事を現実的にとらえるあまり、理屈っぽい、冷たい人間などと思われてしまうこともあります。しかし、頭がよく、状況的判断に優れているため、指導的な立場に就いている人も多く存在します。

《蛇にまつわる諺》

「藪をつついて蛇を出す」

しなくても良い余計なことをしたために、かえって災いを受けることの例えです。「藪蛇」とも言います。

「蛇の道は蛇」

同類のことは同類が良くわかる。同じような仕事や生き方をしてきた者のすることは見当がつく、という意味です。言い換えれば「その道のことはその道の専門家が良く知っている。」ということで、類義語には「餅は餅屋」「馬は馬方」があります。

「蛇の道」は「へびのみち」とは読まず、「じゃのみち」と詠みます。

「蛇の目ほども食うたが得」

蛇の目ほどの僅かな利益でも、得た方がよいという例えです。



36協定を締結

昨年11月、本社及び各営業所で「時間外労働及び休日労働に関する協定」（一般的には「36協定」と称されています。）が、締結当事者間において協定されましたのでお知らせします。

協定の有効期間	令和6年12月1日～令和7年11月30日（1年間）			
延長することができる時間外労働の時間数	労働させることができる休日の日数	特別の事情がある場合の時間外労働（左記の時間外労働の時間数は含まれない）		
1か月	1年	1か月	1か月	1年
45時間	360時間	2日	70時間	720時間

編集後記

年賀状への思い

今年も我が家に年賀状が届きました。
年賀状の起源は古く、平安時代に遡ると言われています。
時代ごとにその形式は変わりましたが、現在まで人との繋がりを大切に、相手を思いやる日本人の心を現わし続けてきました。

私も一時期、届ける人に感謝を伝えたいとの思いから、柄にもなく版画の年賀状作りに挑戦した時期がありました。

紙面構想、掘りそして刷りと、完成品にするためには大変な労力と時間が必要で、私一人では全く目途が立たず3人娘の助けを借りながら、どうにか年内に投函するすることができました。

今思えば全く未知の世界への挑戦でしたが、娘との合作で作り上げた年賀状は、何にも代えがたい貴重な思い出として残っています。

人との繋がりが広がるにつれて差出す年賀状の枚数も増加し、作成手段は「プリントゴッコ」から「ワープロ」へ、そして現在は「パソコン」へと、手作りから文明の利器に主役が代わってきました。

そして現在、主流は若い人（あくまでも私と比較してですが）を中心に「ライン」や「メール」に代わってきました。時間をかけることもなく、年賀のスタンプに一言添えて送信すれば、年明けのグッドタイミングに相手に届きます。本当に便利になったものです。

齢75を迎える私は、加齢とともにお伝えするネタも少なくなり、また気力の衰えも自覚しています。また時代の流れによって年賀状という形式の挨拶はなくなっていく傾向にあります。しかしどのような時代になろうとも、私自身、年賀状の精神である相手様を思いやる心は何時までも持ち続けたいと思っています。

《文責 総務経理部 N.T》

